

脳神経外科・心臓外科手術等に用いる人工生体膜開発メーカー  
「株式会社多磨バイオ」の株式をQuon Capitalに譲渡

エムスリー株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：谷村 格、URL：<https://corporate.m3.com/>、以下「エムスリー」）のシーズロケット事業を展開するシーズロケット有限責任事業組合（職務執行者：エムスリーアイ株式会社 代表取締役 梅田 和宏、以下「シーズロケット」）は、シーズロケットが保有する2016年4月に設立した子会社の株式会社多磨バイオ（本社：東京都港区 代表取締役：星野 清治、以下「多磨バイオ」）の保有株式（発行済株式の86.4%）を、Quon Capital株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：長尾 哲哉、以下「クオンキャピタル」）が運用する投資ファンドに譲渡しました。

多磨バイオは、理研の高分子樹脂を特殊加工する技術を実用的な基盤技術とし、エムスリーのシーズロケット事業の一環として2016年4月に設立されました。多磨バイオはこれまで人工硬膜「デュラビーム®」と人工心膜「ペリビーム®」の製造販売承認（クラスⅣ）を厚生労働省より取得しています。「デュラビーム®」は2020年7月より全国販売を開始しており、現在約500名超の患者さんへ既に使用され、高い評価を得ています。

今後多磨バイオはクオンキャピタルの支援の下、有望な海外市場での承認獲得をはじめ、人工硬膜「デュラビーム®」と人工心膜「ペリビーム®」にとどまらずよりクリティカルかつ高成果の見込まれる分野での人工臓器開発も視野に、事業を展開してまいります。

<クオンキャピタルについて>

- (1) 設立：2019年4月
- (2) 所在地：東京都港区赤坂2-23-1 アークヒルズフロントタワー
- (3) 代表取締役：長尾 哲哉
- (4) 事業内容：投資ファンド運用管理、経営コンサルティング

<多磨バイオについて>

- (1) 設立：2016年4月
- (2) 代表取締役：星野 清治
- (3) 事業内容：医療機器の開発・販売